

## 高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線高架下利用計画（磐田市区間）（案）

## 1 計画概要

本件は、高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線の2.7kmの連続高架部分（豊岡高架橋及び天竜川橋）のうち磐田市区間2.0kmについて高架下利用計画を策定するものである。

## 2 付近地の土地利用の特徴

建設中の高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線の磐田市区間の高架下（豊岡高架橋及び天竜川橋：2.0km）は、磐田市中心部から北へ1.3km付近に位置して、磐田市北部を東西に横断している。都市計画の用途地域等は市街化調整区域であり、周辺の土地利用状況は用途地域等に応じて、農地及び農家集落（市街化調整区域）となっている。

交通面では、当該区間の北約0.7kmに天竜浜名湖鉄道の豊岡駅が最寄り駅として存在し、東端には主要地方道磐田天竜線、西端には県道上野部豊田竜洋線が交差している。

また、豊岡高架橋の北東側の丘陵地約1.5kmに位置する新平山工業団地が工業専用地域となっており、南側1.5kmの天竜川沿いには交流・レクリエーション機能の拠点として、天竜川ラブリバー公園、豊岡総合センターの整備が位置付けられている。

なお、地元からは当該地域において、公園、多目的広場及びそれらに付随する駐車場の要望がある。

## 3 利用計画

## (1) 高架下利用部分の選定

高架下利用可能箇所図（①～⑧）のとおり。

## (2) 利用用途の決定

都市計画法、道路法等の法令及び周辺地域の土地利用状況を勘案し、本件高架下の土地利用を別表のとおり決定するものである。

なお、本件高架下のうち、道路管理上必要な調整池として使用する部分については、利用用途の決定は行わないものとする。

以上

## 第二東海自動車道横浜名古屋線高架下利用計画（磐田市区間）（案）

利用用途設定理由		
区 間 A	用途地域等	市街化調整区域
	周辺土地利用状況	農地
	前面道路幅員	幅員 5m舗装道路、6m舗装道路、7m舗装道路、8m舗装道路
	最寄駅	天竜浜名湖鉄道「豊岡」駅
	最寄駅直線距離	700m～1100m
	建ぺい率／容積率	—
	利用用途	駐車場・公園・広場
<p>本件高架下のAの区間約2,000mは、都市計画上、市街地調整区域となっており、市街化を抑制するため、原則として開発や建築等が禁止されていることから、高架下の土地利用として考えられるのは、駐車場・公園・広場である。よって、上記のとおり利用用途を定めるものである。</p>		